

乳幼児新型コロナウイルスワクチン 接種後副反応調査

中間報告

2022年11月10日～2023年1月10日調査回答分

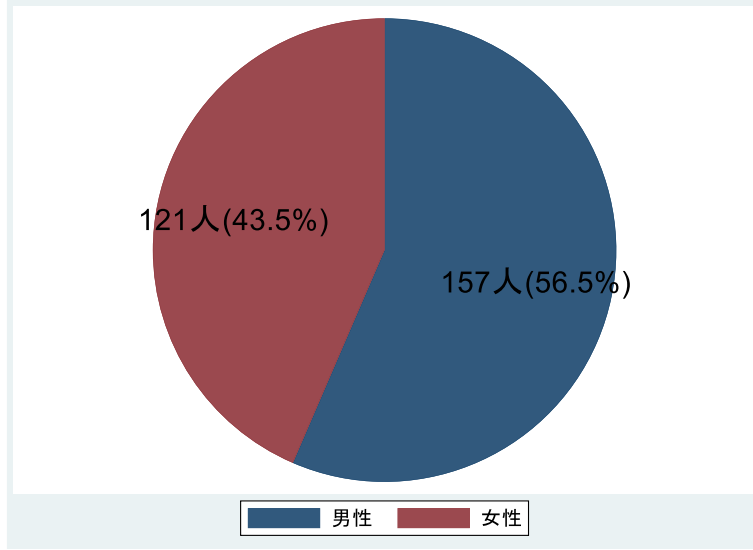
岡山大学 疫学・衛生学分野

乳幼児新型コロナウイルスワクチン接種後副反応調査

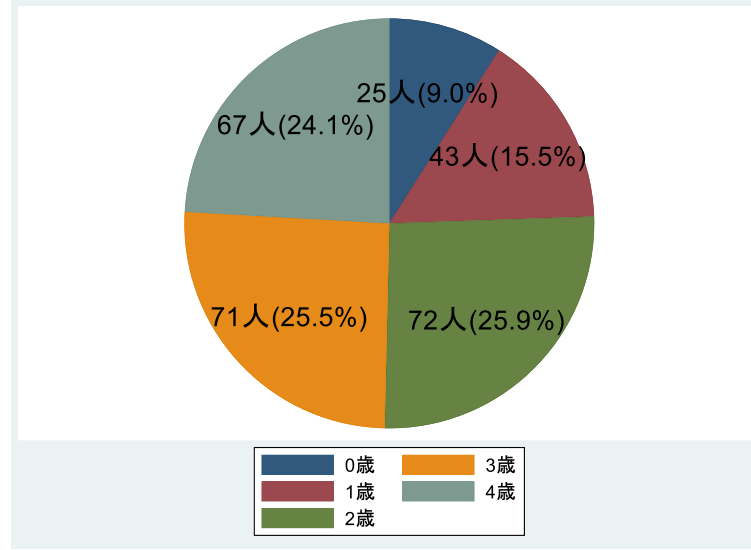
目的	ファイザー社製乳幼児用新型コロナウイルスワクチン接種後の副反応の頻度を評価し、県民へ正確な情報提供を行う
対象	岡山県内の協力医療機関で、生後6か月～4歳対象のファイザー社製乳幼児用新型コロナウイルスワクチンを接種し、接種後副反応調査に回答した者（のべ 278名、内訳 1回目接種 188名、2回目接種90名）
調査実施方法	Google Formによる回答
解析	-記述分析 -岡山大学大学院医歯薬学総合研究科疫学・衛生学分野にて解析実施
実施主体	岡山県

被接種者の特性 (回答総数278名)

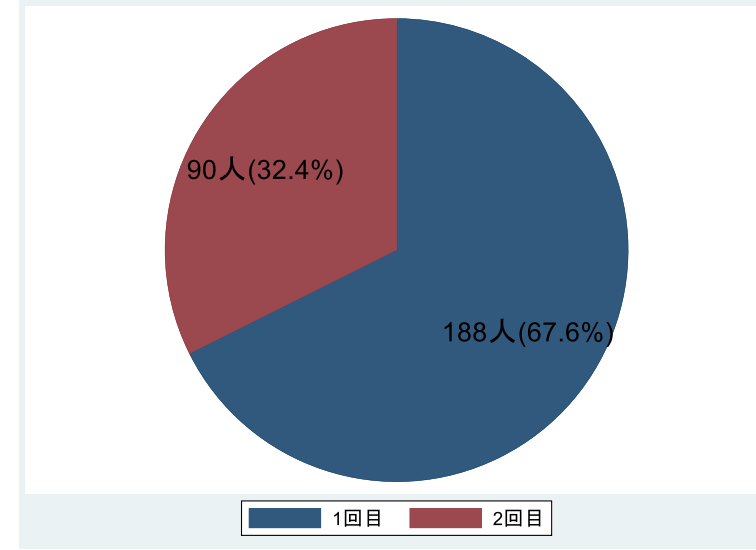
男女



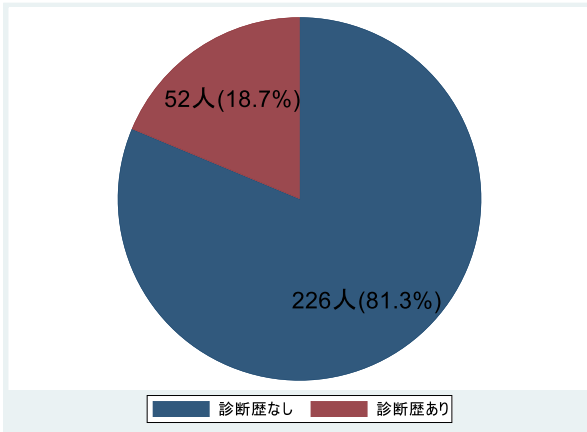
年齢分布



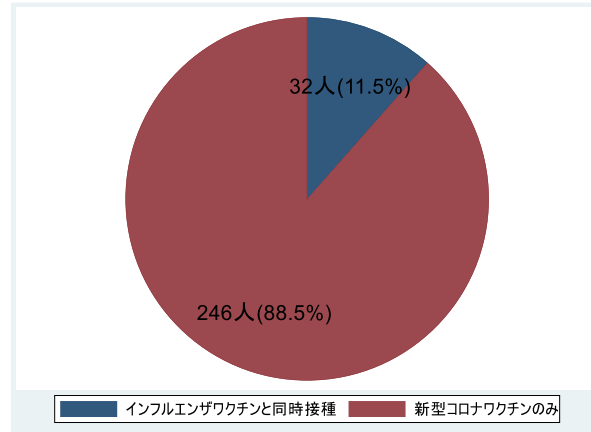
接種回



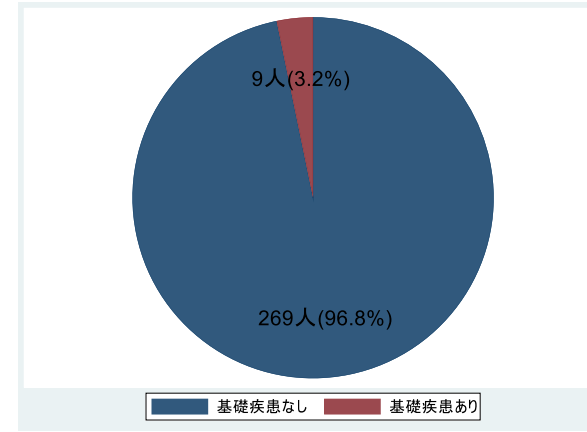
COVID-19診断歴



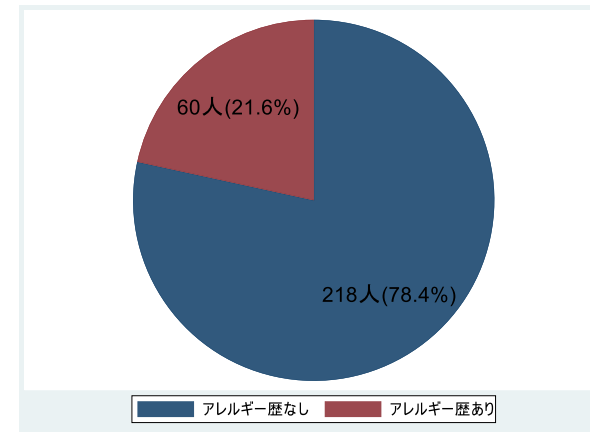
同時接種の有無



基礎疾患



アレルギー歴



* 観察期間中にコロナ陽性となった4名、突発性発疹と診断された2名、接種3日目以降に初めて熱発した2名、観察期間中に明らかな感冒症状を伴う発熱があった1名は、他の感染症による症状と考え、解析から除外した

* 本調査における基礎疾患は、日本小児科学会の『新型コロナウイルスワクチン接種にあたり考慮すべき小児の基礎疾患等』を基に独自に定義した

接種回数別 副反応出現割合 (278名)

	乳幼児1回目 (n=188)	成人1回目 (参考値)	乳幼児2回目 (n=90)	成人2回目 (参考値)	接種後の最高体温				
	人(%)	(%)	人(%)	(%)	最高体温	1回目 人数 割合(/188名)		2回目 人数 割合(/90名)	
局所反応									
痛み	31 (16.5)	(88.2)	20 (22.2)	(85.9)	発熱の程度				
腫脹	16 (8.5)	(28)	8 (8.9)	(29.3)	無し	175	(93.1%)	83	(92.2%)
発赤	15 (8.0)	(10.8)	7 (7.8)	(17.7)	37.5~38.0	6	(3.2%)	2	(2.2%)
全身反応									
37.5度以上の発熱	11 (5.9)	(2.7)	6 (6.7)	(37.5)	38.0~39.0	5	(2.7%)	3	(3.3%)
副反応に対する対応									
解熱鎮痛剤使用	9 (4.8)	(20.9)	1 (1.1)	(61.1)	39.0~40.0	0	(0.0%)	0	(0.0%)
病院受診	2 (1.1)		1 (1.1)		40.0~	0	(0.0%)	0	(0.0%)
					測定していない	2	(1.1%)	2	(2.2%)

* 発熱の有無を聞いた質問と、接種後の最高体温を聞いた質問は独立したものであり、誤差がありえる

成人と比較して副反応の出現割合は低かった

注). 成人データは、岡山県内の医療従事者を対象としたファイザー社製ワクチン初回調査(令和3年7月)より抜粋

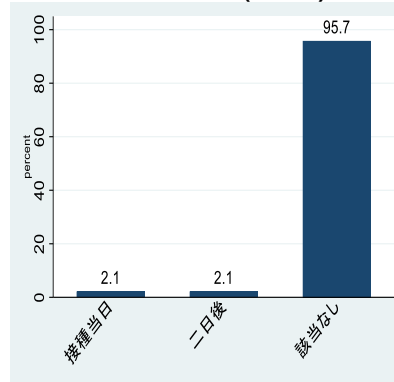
1回目接種時0~1歳

接種回数別 接種後日数別副反応 (局所反応)

1回目
n=47

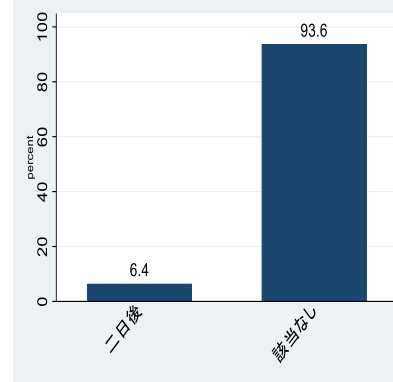
痛み

4.3% (2人)



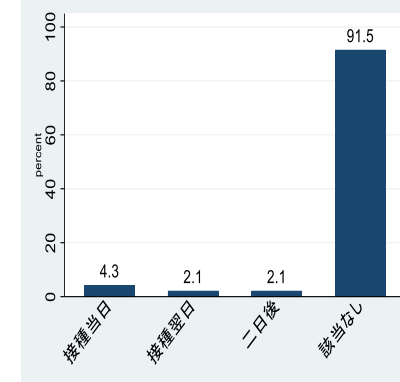
腫脹

6.4% (3人)



発赤

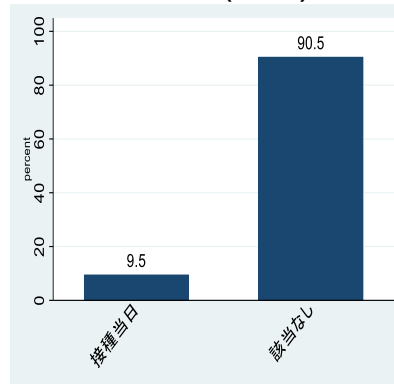
8.5% (4人)



2回目
n=21

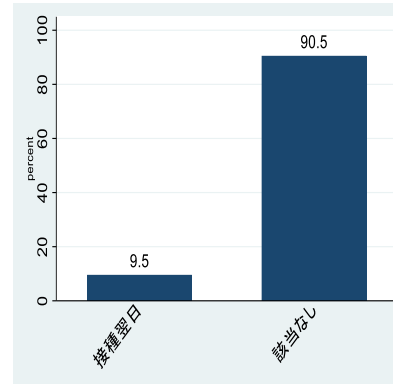
痛み

9.5% (2人)



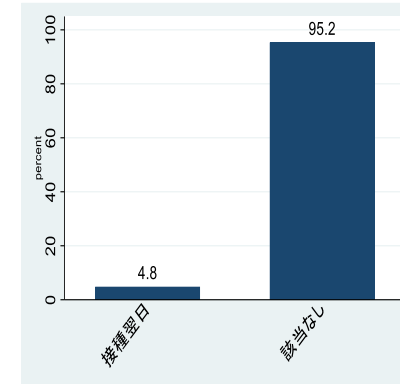
腫脹

9.5% (2人)



発赤

4.8% (1人)



注). 棒グラフは各反応の最終観察日を示す

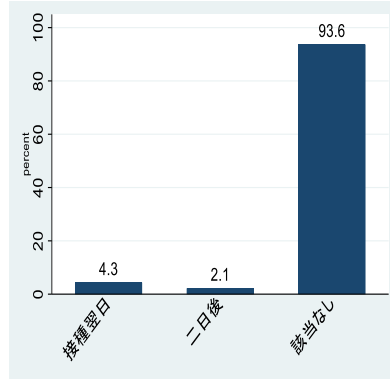
1回目接種時0~1歳

接種回数別 接種後日数別副反応 (全身反応)

1回目
n=47

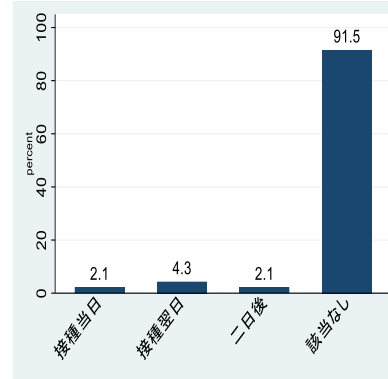
発熱

6.4% (3人)



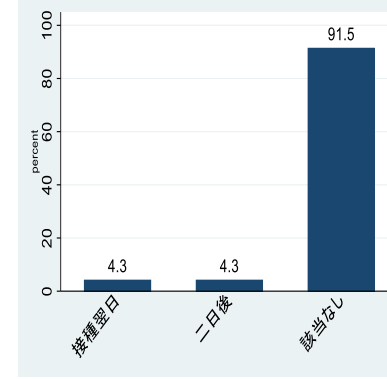
元気がない

8.5% (4人)



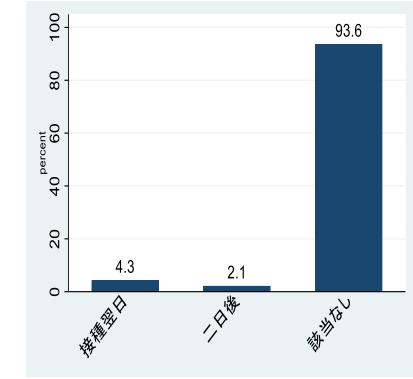
不機嫌

8.5% (4人)



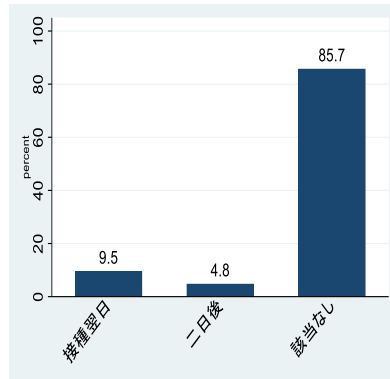
食欲低下

6.4% (3人)



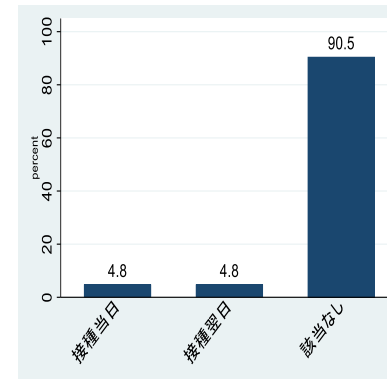
2回目
n=21

14.3% (3人)



0.0% (0人)

9.5% (2人)



0.0% (0人)

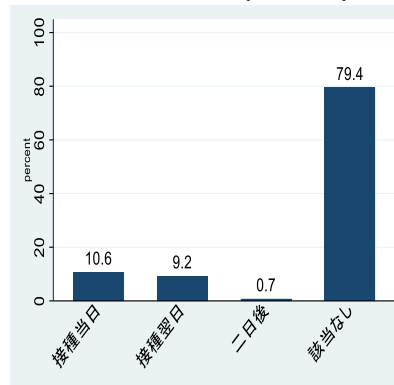
注). 棒グラフは各反応の最終観察日を示す

接種回数別 接種後日数別副反応 (局所反応)

1回目
n=141

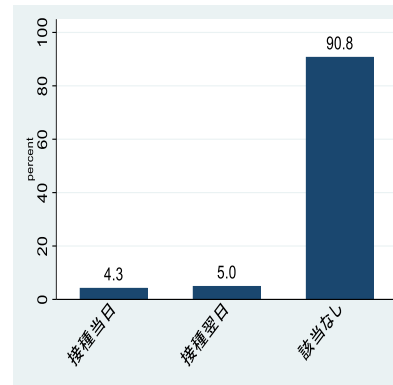
痛み

20.6% (29人)



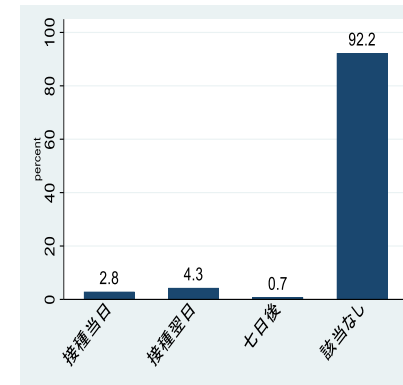
腫脹

9.2% (13人)



発赤

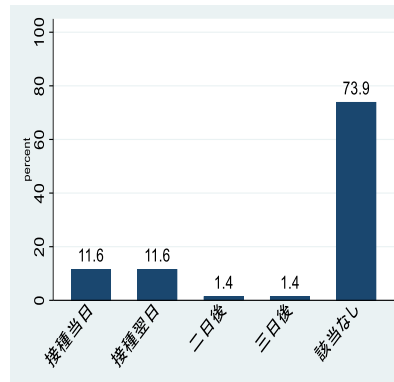
7.8% (11人)



2回目
n=69

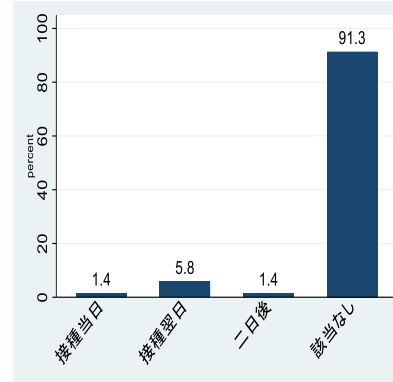
痛み

26.1% (18人)



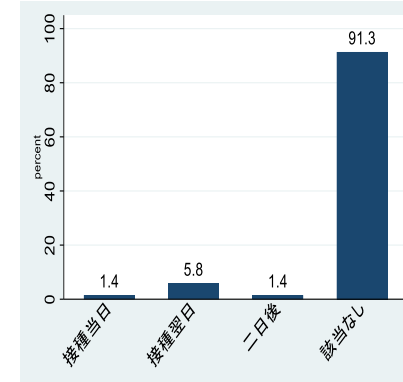
腫脹

8.7% (6人)



発赤

8.7% (6人)



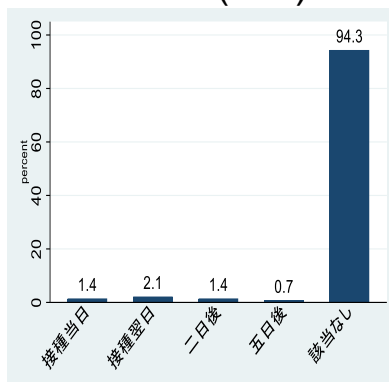
注). 棒グラフは各反応の最終観察日を示す

1回目接種時2~4歳

接種回数別 接種後日数別副反応 (全身反応)

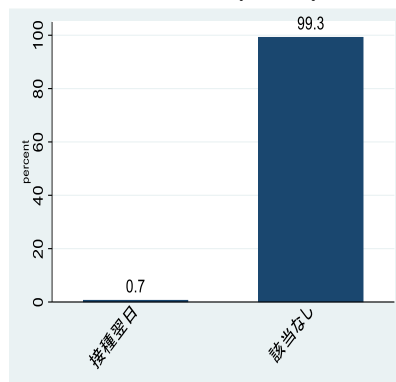
発熱

5.7% (8人)



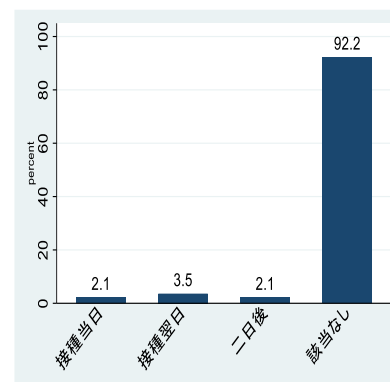
頭痛

0.7% (1人)



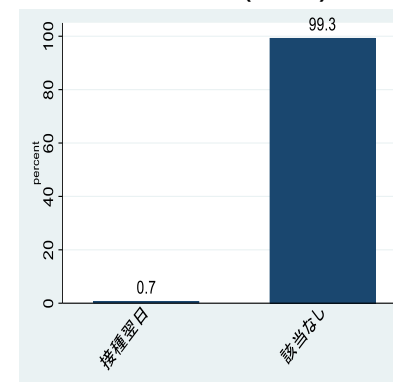
倦怠感

7.8% (11人)



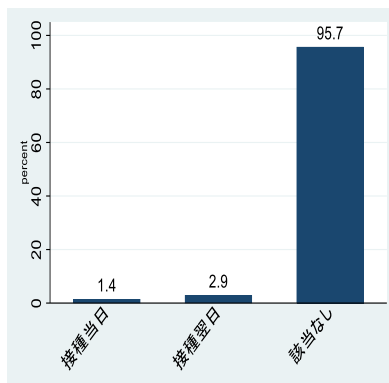
悪寒

0.7% (1人)

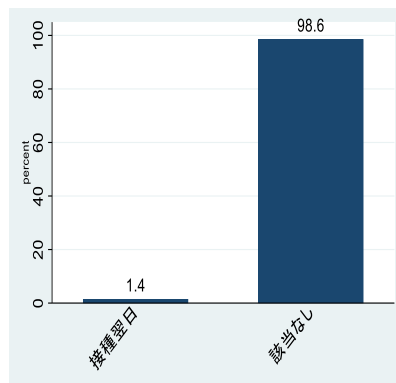


1回目
n=141

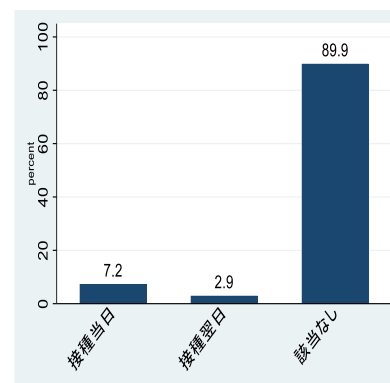
4.3% (3人)



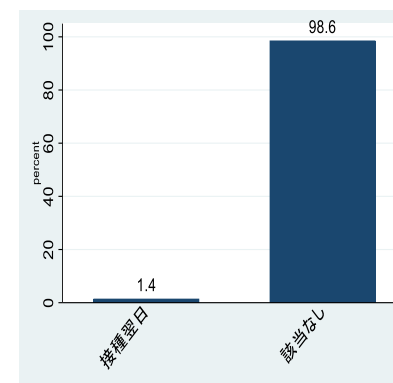
1.5% (1人)



10.1% (7人)



1.4% (1人)



2回目
n=69

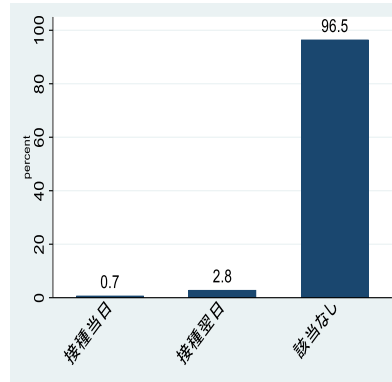
注). 棒グラフは各反応の最終観察日を示す

1回目接種時2~4歳

接種回数別 接種後日数別副反応 (全身反応)

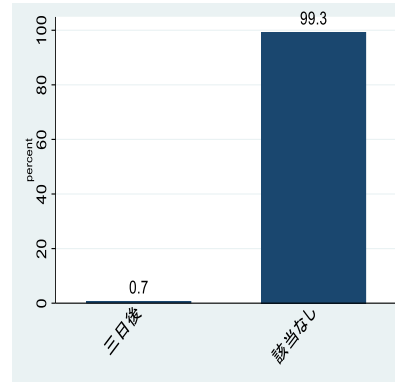
筋肉痛

3.5% (5人)



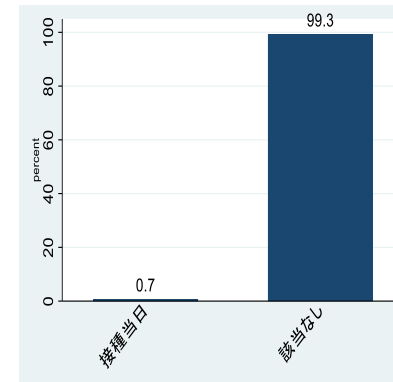
関節痛

0.7% (1人)



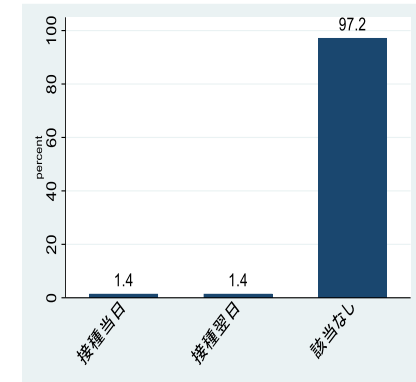
嘔吐・嘔気

0.7% (1人)



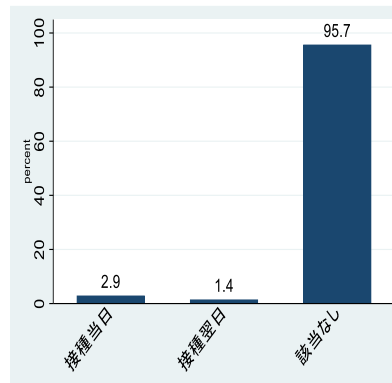
下痢

2.8% (4人)

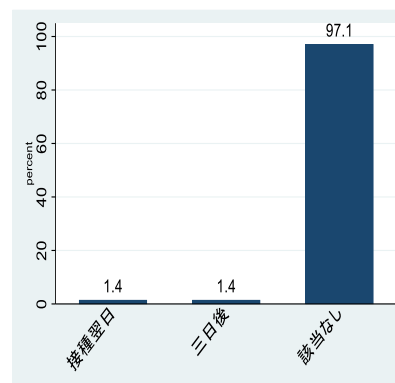


1回目
n=141

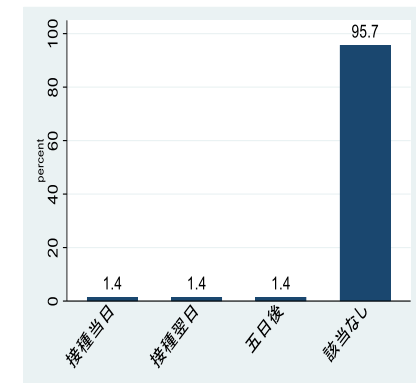
4.3% (3人)



2.9% (2人)



0.0% (0人)



4.3% (3人)

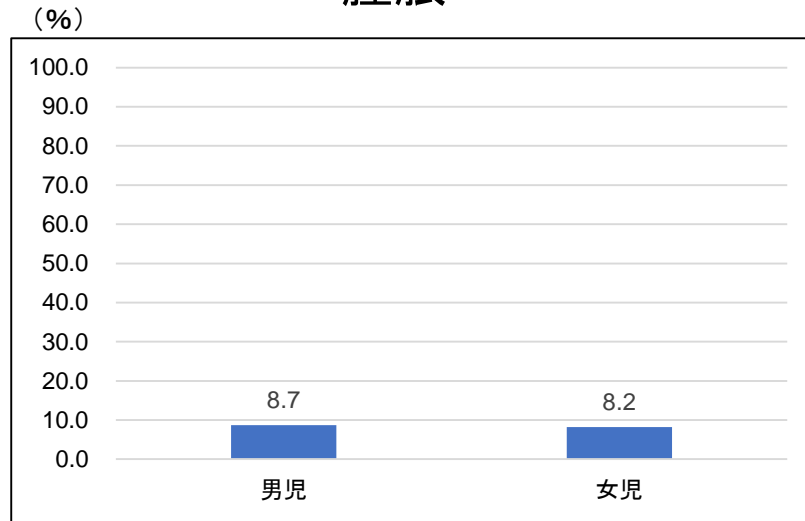
2回目
n=69

注). 棒グラフは各反応の最終観察日を示す

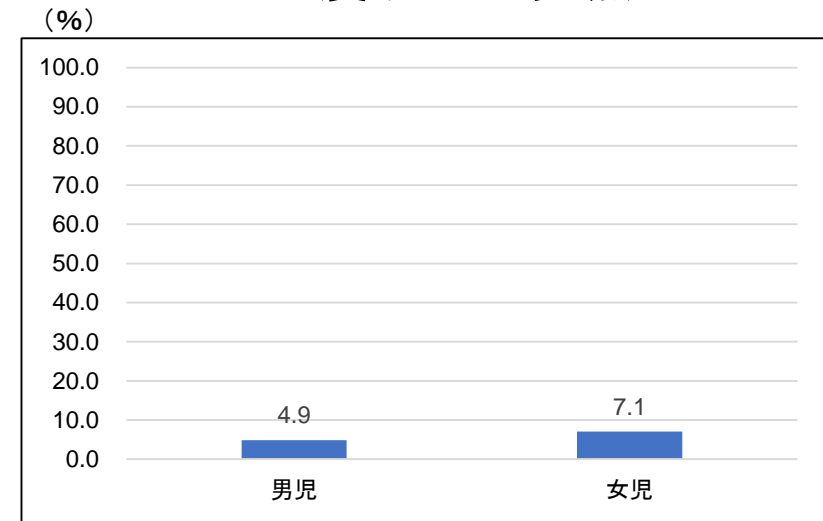
接種回数別 性別副反応(男女比較)

1回目
n=188

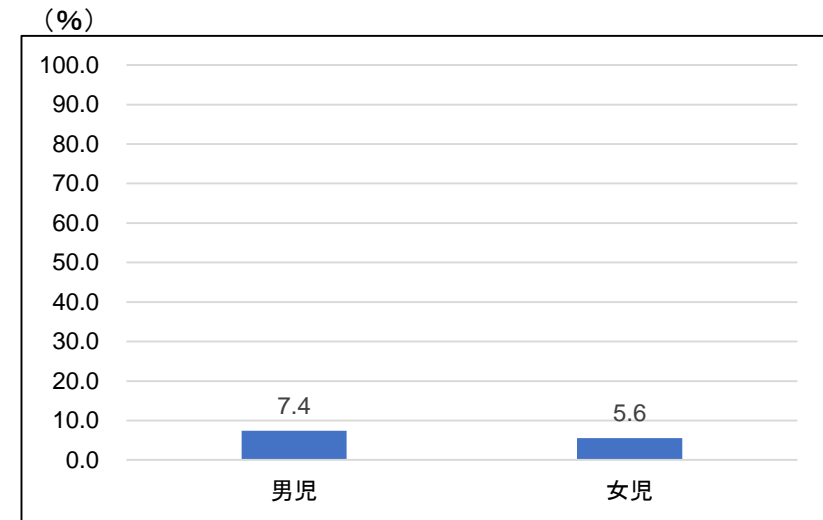
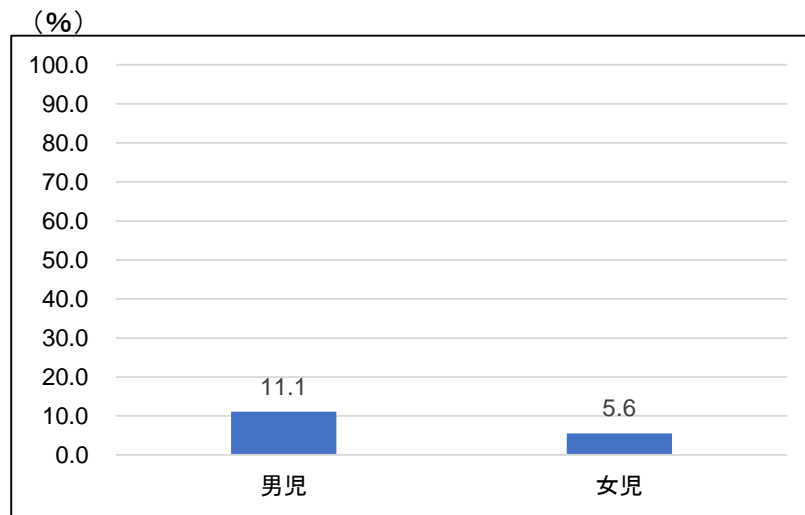
腫脹



37.5度以上の発熱



2回目
n=90

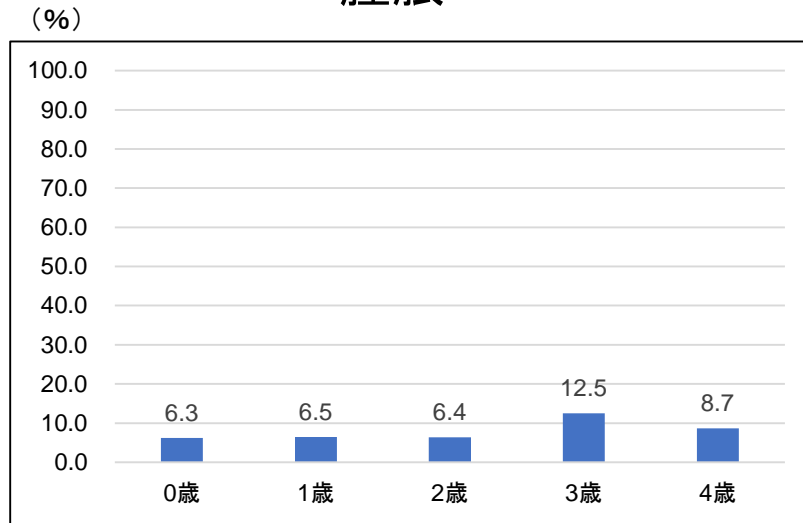


男女の差は明らかではなかった

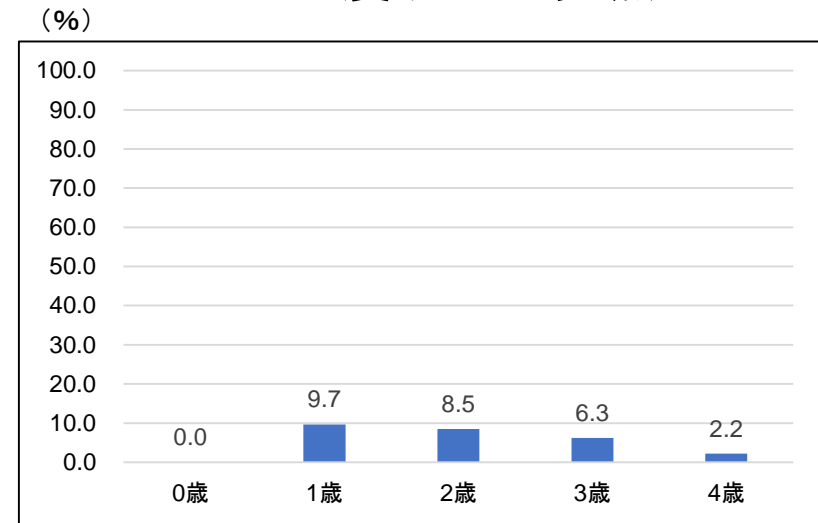
接種回数別 年代別副反応

1回目
n=188

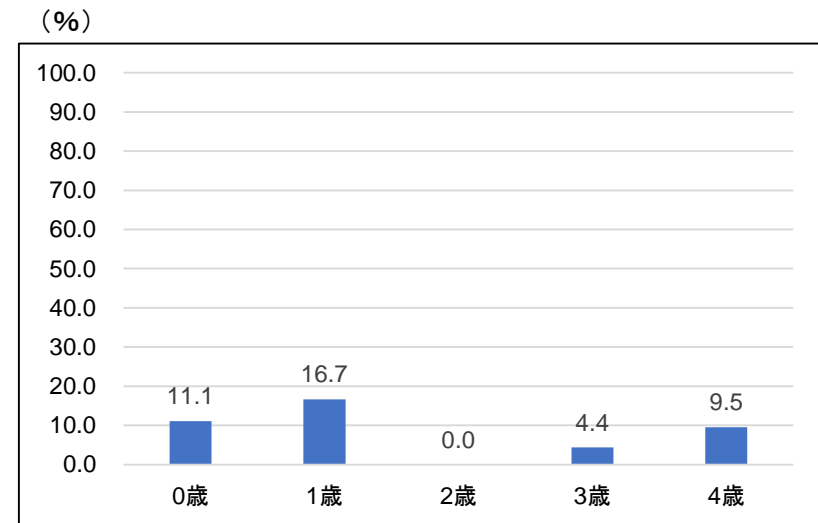
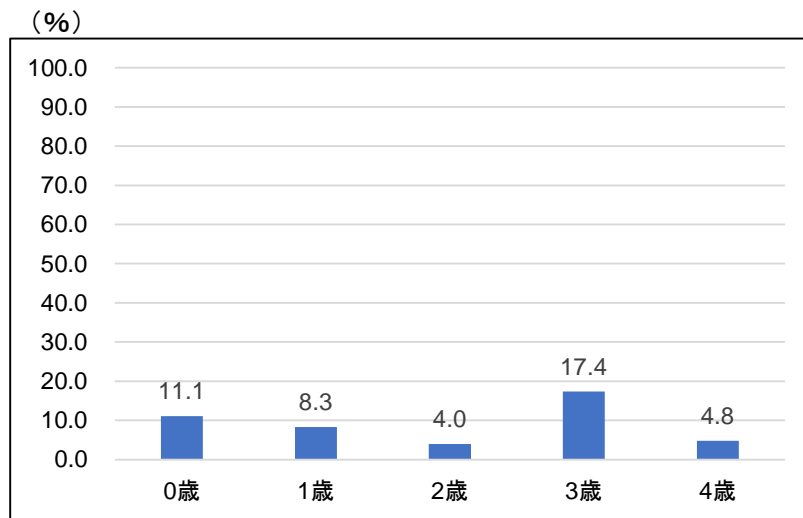
腫脹



37.5度以上の発熱



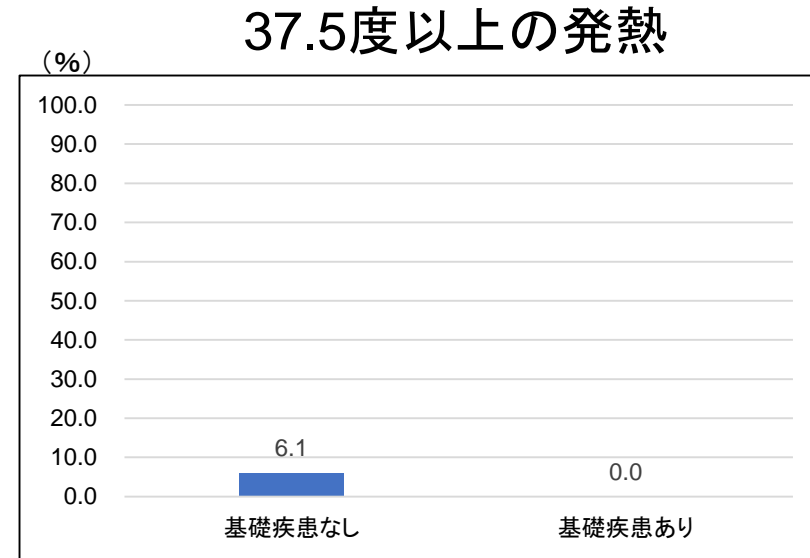
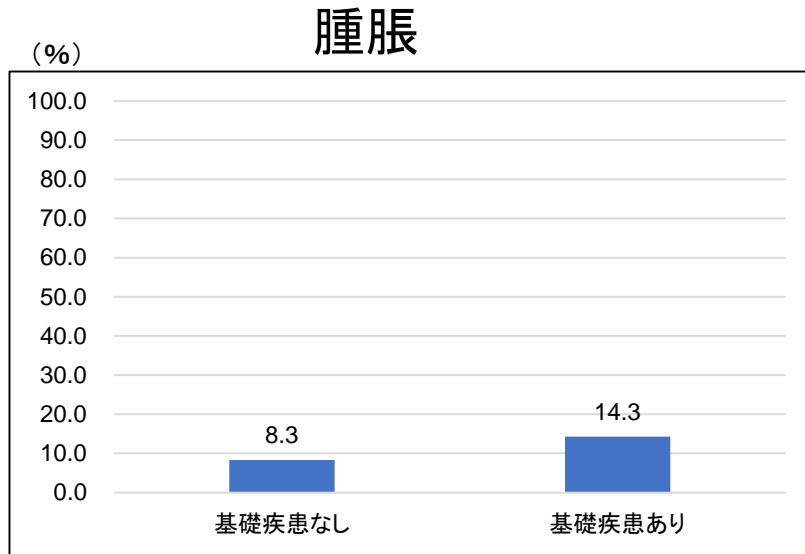
2回目
n=90



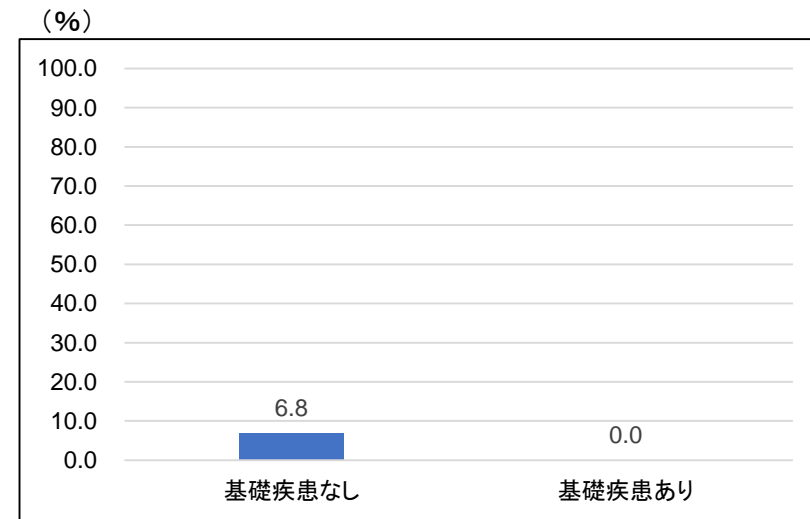
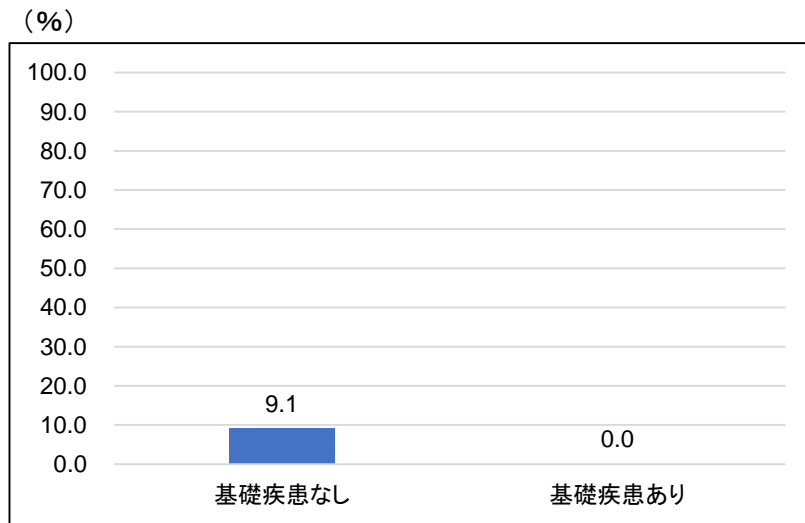
年齢による明らかな傾向は見られなかった

接種回数別 基礎疾患別副反応

1回目
n=188



2回目
n=90

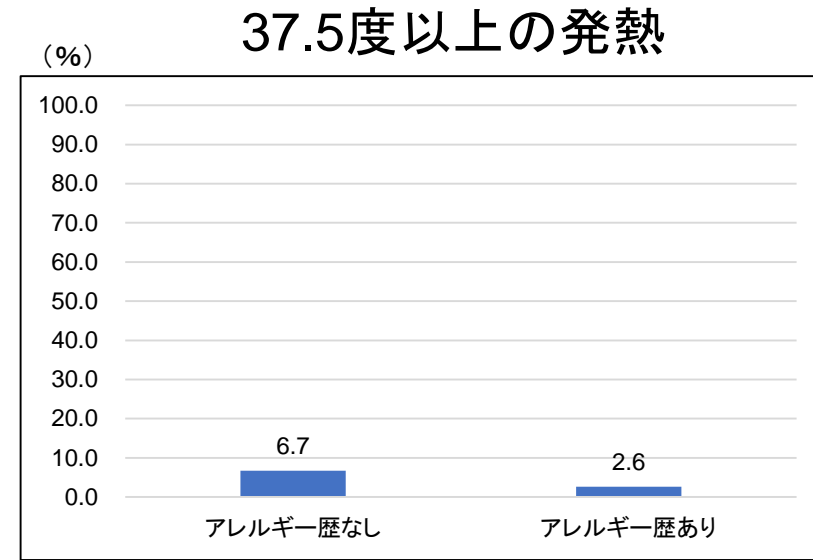
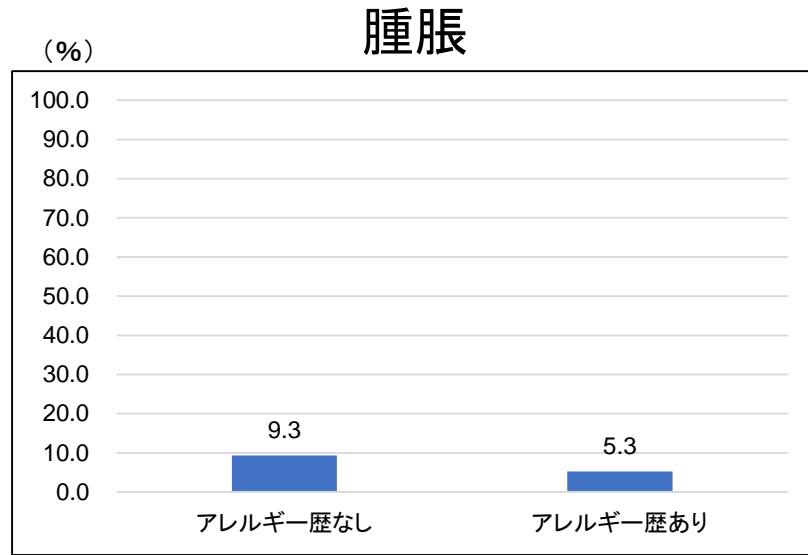


基礎疾患の有無による違いは明らかではなかった

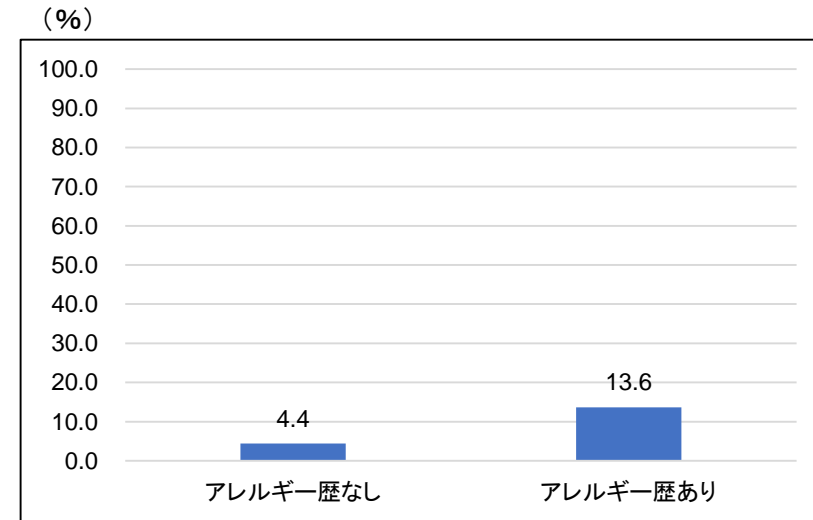
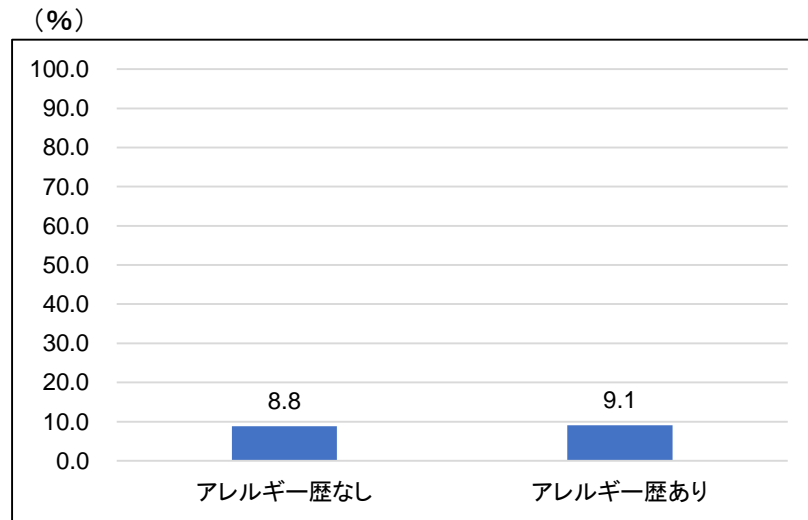
* 基礎疾患ありの人数が少ないため参考値

接種回数別 アレルギー歴別副反応

1回目
n=188

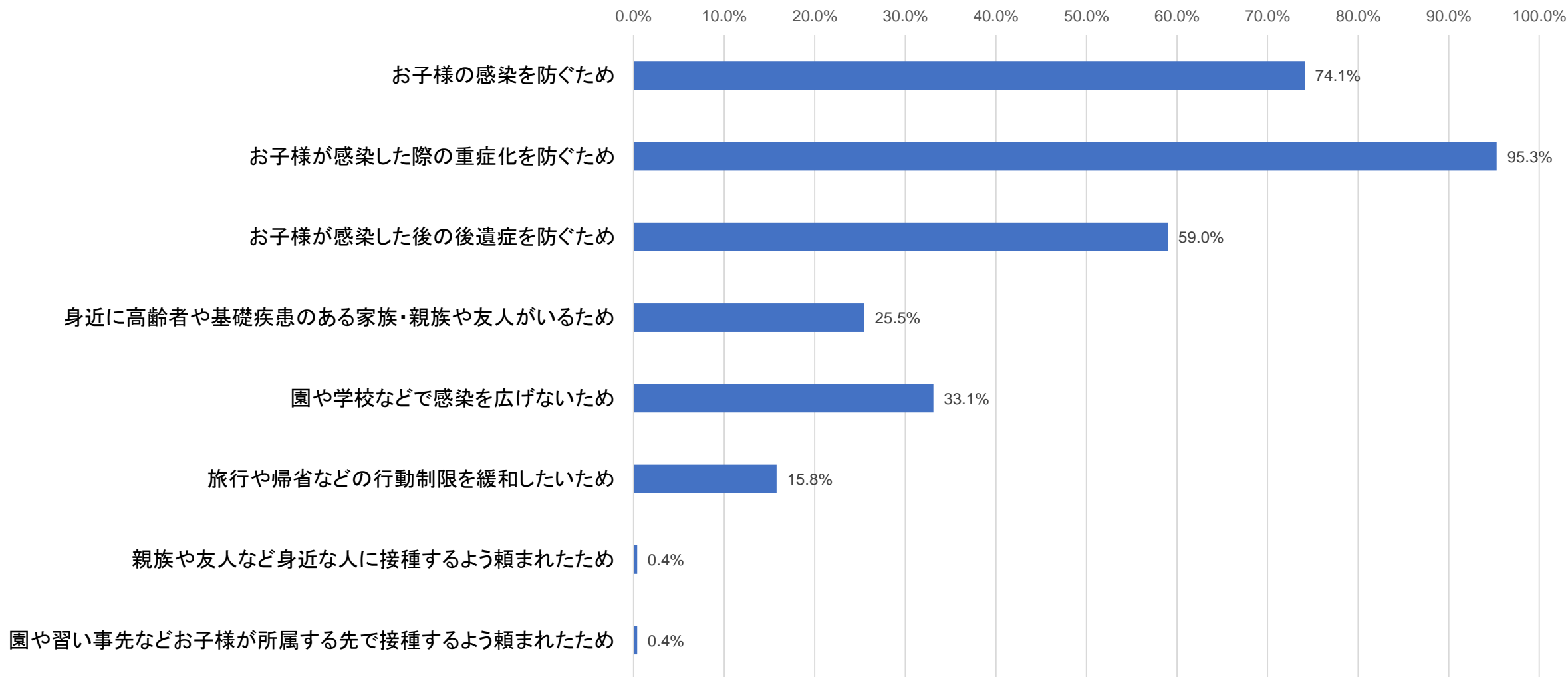


2回目
n=90



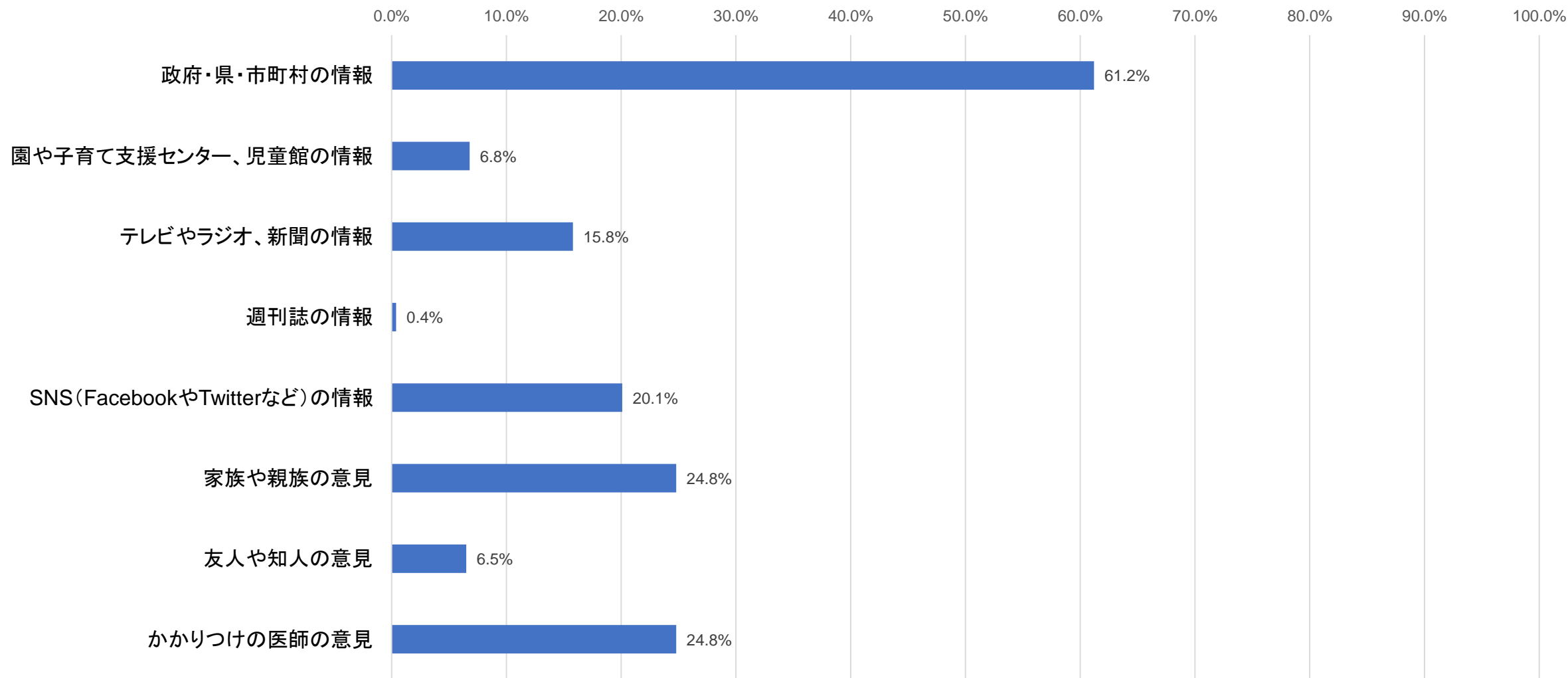
アレルギー歴の有無による違いは明らかではなかった

接種を受けることを決めた理由 (複数回答可)



接種を受けることを決めた理由として、子どもの感染・重症化・後遺症を防ぐ、園や学校で感染を広げないためなどを挙げた回答者が多かった。また、かかりつけ医師のすすめとの回答も複数あった。

接種を受けることを決めた情報元 (複数回答可)



接種を受けることを決めた情報元として、政府・県・市町村など公的な情報の割合が高かった。またかかりつけの医師、家族、SNSの情報も重視されていた。また、日本小児科学会の推奨との回答も複数あった。

乳幼児新型コロナウイルスワクチン接種後副反応調査中間報告まとめ

- 岡山県内の協力医療機関で、生後6か月~4歳対象のファイザー社製乳幼児用新型コロナウイルスワクチンを接種した者を対象に、接種後副反応調査を行い、278名のデータを解析した。なお、ファイザー社製乳幼児新型コロナウイルスワクチンは、初回接種として3回の接種が必要だが、中間報告の時点では2回目接種までの回答を取りまとめた。
- 局所反応については、1回目、2回目ともに成人と比較して、副反応の出現割合は低かった。
- 発熱の出現割合について成人と比較すると、1回目は高く、2回目は大幅に低くなっている。これに関し、乳幼児には日頃から発熱しやすい特性があり、本調査においても感冒など副反応以外の発熱が含まれると考えられるが、成人や小児接種で報告された1回目から2回目にかけての発熱割合の上昇は認められず、乳幼児では副反応による発熱の頻度は低いと解釈している。
- 症状がある場合でもほとんどは接種翌日までに治まり、接種3日目以降まで持続するケースは少なかった。
- 性別、年齢、基礎疾患、アレルギー歴の有無により、発熱の出現頻度は変わらなかった。(統計学的な有意差はなし)
- 接種理由として大多数が、お子様自身の感染や重症化を予防するためと回答した。

ご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました